

ロータリー情報委員長
内田リカコ

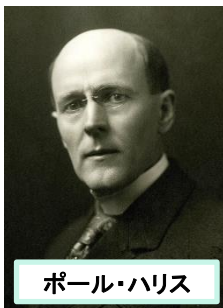
平井会長より、ロータリー情報委員長として、入会後日の浅い会員さま向けのロータリー情報を提供してほしいとのご依頼で、お話をいただきました。

ロータリークラブはそもそもアメリカからやってきたもので、ローマ字の単語も多くわかりにくいとは思いますが、まずは「**ロータリー用語便覧**」
<http://rotaryclub2650japan.org/word/> のご紹介をさせていただきます。先ほど、グループLINEにサイトを掲載しておりますのでそちらをご確認ください。

また、ロータリーについて、非常に多くに情報を得る方法として、「**MY ROTARY**」の登録をお勧めいたします。WEBでMY ROTARYにアクセスいただいて、事務局にご登録いただいておりますメールアドレスを登録して、ご利用ください。

【ロータリーの始まりは4人】

ロータリアンとして、この人の名前だけは憶えておかななくてはならないのが、ポール・ハリス、ロータリーの創始者です。彼は、1905年2月23日、3人の友とシカゴの中心街の友人の事務所集会を開きました。これが、世界初のロータリーの例会です。



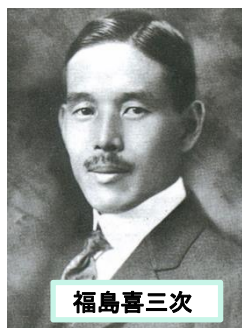
ポール・ハリス

彼らが**ロータリーを創った理由**、それは、急速に発展する経済社会の「騙す者より騙される方が悪い」といった商業道德の欠如した風潮を憂い、「**公正な取引**」ができる信頼できる相手を親友関係にまで発展させることのできる仲間を増やしたかったからだといわれています。また、**ロータリーの名前の由来**は、集会を各自の事務所を「持ち回りで(rotary)」開催したからとのこと。

日本に最初のロータリークラブができたのは、1920年(大正9年)。のちに「米山奨学金」の名前の由来ともなる**米山梅吉**が初代会長、日本人初のロータリアン(在米中、ダラスロータリクラブに所属)であった**福島喜三次**が初代幹事を務めた**東京ロータリークラブ**の誕生です。2番目は大阪RC、3番目は神戸RC、4番目は名古屋RC、5番目は京都RCです。



米山梅吉



福島喜三次

日本にロータリーがやってきて間もない1923年9月1日、**関東大震災**が起こります。地震発生の3日後には、国際ロータリーからお見舞いの電報が届き、10日にはサンフランシスコRCから1,000ドル、11日にはニューヨークRCから1,000ドル、16日にはRIから25,000ドル、最終的に世界のRCから42,000ドルの義捐金が寄せられました。当時の電信事情、世界情勢に鑑みれば、世界の東の果ての国にすごい速さですごい金額の義捐金が届けられたことに驚くばかりです。第2次世界大戦の影響で1940年国際ロータリーを脱退、1949年に復帰するまでの間も例会は続けられており、敵国から来たロータリーへの風当たりを避けるため、例会場には「日の丸」掲揚し、「君が代」を斉唱するようになったとのこと。現在、日本には、約2,300のクラブがあり、会員数は9万人前後で推移しています。世界には、約35,000のクラブ、およそ120万人の会員登録があるそうです。

世界のロータリーの出来事で注目されるのは、シカゴロータリーの設立2年目から**初の社会奉仕活動として公衆便所設置運動**が展開され、さらに2年後に公園に公衆便所が設置されたことです。今でこそ、ロータリーは奉仕団体として認識されていますが、当時は「正当な取引」を目的とする職業人の集まりの色合いが濃く、社会奉仕活動を始めたのは大きな岐路であったように思います。

ロータリー財団の基となった「ロータリー基金」は1917年に設立。**アーチ・クランフ**がクラブからもらう記念品を辞退し、そのお金をもとにみんなに寄付を呼び掛けたことに始まります。



アーチ・クランフ

もう1点、ロータリーに**女性会員**が認められたのは1989年、たった33年前のことです。今でも、女性会員は世界でも25~30%弱、日本では5%程度です。わが桜井ロータリークラブは、15人中4名が女性で26.7%、小さなクラブですが、これは世界水準です。

ここからは**【ロータリーの基本理念】**について、ご紹介させていただきます。以下はMy Rotaryや概況報告書の裏表紙に掲載されておりますので、是非一度ご自身で調べてみてください。

【ロータリーの目的】は、「奉仕の理念を奨励し、これを育むこと」で、具体的には4つの項目を奨励することですが、注目したいのは第2項目の「ロータリアン**各自の職業**を高潔なものに」、第3項目の「**ロータリアン一人一人**が、個人として、また事業および社会生活において」、第4項目の「奉仕の理念で結ばれた職業人が」という文言で、この辺りが**ロータリークラブとライオンズクラブの違い**でよく言われるところの、**ロータリーは「I serve」、ライオンズは「We serve」とか「ロータリーは職業奉仕、ライオンズは社会奉仕」といわれる**所以ではないかと思えます。

【4つのテスト】は『1. 真実かどうか
2. みんなに公平か3. 好意と友情
を深めるか4. みんなのためになる
かどうか』でロータリーソングに
もなっています。これは、倒産寸前



だった会社の立て直しを頼まれた
ハーバート・テイラーが、宗教も理
念も違う社員たちをまとめていくのに用いた標語
で、実際にとても効果があったものだそうですが、
1954年、彼がRIの会長に就任した時に著作権を
RIに移譲しています。

【ロータリアンの行動規範】は、今まで4項目でし
たが、2019年1月に「ハラスメントのない環境維
持」の項目が追加されました。

【中核的価値観】は「親睦」「高潔性」「多様性」「奉
仕」「リーダーシップ」です。「中核的価値観」はと
ても難しい言葉ですが、私の個人的解釈ですが、
要するに、「ロータリーが今までもこれからもずっ
と大切にしていける大切なもの」という意味だと思
います。「親友を求めて(親睦)」創設された社交ク
ラブが「高い職業倫理(高潔性)」でつながる、「様
々な価値観を持つ人々(多様性)」と「奉仕」活動
を展開し、その中で「新しいリーダーを育て、自ら
もより良いリーダーに」なるために研鑽を重ねる
のがロータリーなのだと思います。

奉仕活動の種類分けとして【五大奉仕】＝「ク
ラブ奉仕」「職業奉仕」「社会奉仕」「国際奉仕」「青
少年奉仕」があります。このうち「クラブ奉仕」「社
会奉仕」「国際奉仕」「青少年奉仕」の4つは、奉
仕の前についている文言の「～に対する奉仕」と
いう理解で良いと思われますが、「職業奉仕」だ
けは「職業を通じて」する奉仕と考えられます。こ
こでもまた、ロータリーは「一人一人が自らの職業
を通じてする奉仕」である、「職業奉仕、I serve」
の団体であることが思い起こされます。私は、こ
れからのロータリーでは、一つの事業がいくつも
の活動分野の局面を持ち合わせるような事業を
することが求められていると考えています。

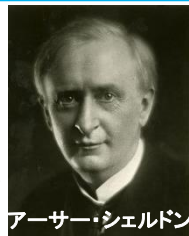
さらに、これらの奉仕活動における活動の柱は
【重点的活動分野】です。これも今までは、「平和
の推進」「疾病との闘い」「水と衛生」「母子の健
康」「教育の支援」「地元経済の成長」の6つでし
たが、先日、地区国際奉仕委員会での松原ガバ
ナーからの情報によりますと、「環境保全」の項目
が加えられ、7つになったとのこと。重点的活
動分野に則した活動であれば、ロータリー財団の
補助金を得やすいことはもとより、ロータリーの本
旨に則った活動ができると考えられます。

【ロータリーの2つの公式標語】

「超我の奉仕」と「最もよく奉仕する者、最も多
く報いられる」です。

いずれもロータリー創設期の1911年の第2回の
ロータリーの年次大会でアーサー・フレデリック・
シェルドンによって提唱されたもので、1950年に
正式標語とされ、1989年に「超我の奉仕」が第1
標語に決められました。

それぞれの意味は、ざっくり
申し上げれば、「自分さえよければよい
のではなくて、他人のことを考えて奉仕
する」と、「奉仕することで自分自身
が報われる」と感じるの意味だと思っ
てのことはと思いますが、大変奥の深い標
語ですので、会員の皆さまがそれぞれにお考えを深
めていただくのが良いのではないでしょう



【国際ロータリーが推進するDEIとは？】

D=Diversity(多様性)

E=Equality(公平性)

I=Inclusion(包含・包摂)

あくまでも私個人の解釈ではありますがご参考まで
にお伝えさせていただければ、D(多様性)は人種、性
別、障がい者、子ども、高齢者等、様々な立場の人々
がいることを認め、E(公平性)すべての人々に公平に
権利が認められ、I(包摂)それらの人々が当然に社
会の一員として存在する社会を目指そうということだ
と思います。



【桜井ロータリークラブ】

1975年7月2日「仮桜井ロータリークラブ」として発足、
8月7日 認証、翌年5月16日に加盟認証状伝達式、
今年度は設立47年目になります。設立時ガバナーは
元RI理事の千玄室パストガバナーです。

以来、様々な活動を行ってきておりますが、約10年
前には会員数が4名になってしまったこともあったと伺
っております。数々の企業訪問を始め、コロナ禍で継続
できておりませんが、「異業種交流会」も実施致しまし
た。桜井市立図書館への図書寄贈は累計で6,000
冊を超えています。コロナ対策とし手指消毒用アル
コール噴霧器を桜井市内の学校をはじめとする各施
設に寄贈。コロナ禍で中止となっておりますが、桜井
高校イギリス短期ホームステイ派遣事業も5年にわた
り実施。ラオス住血吸虫症撲滅活動やレイテ島台風
被災地校支援事業など海外での国際奉仕活動も積
極的に取り組んでいます。桜井ロータリー杯学童軟式
野球大会も今年度は8回目。国際大会へも、毎年多く
の会員が参加しています。

【私がロータリーライフで大切にしているもの】

- ★違った価値観との出会い
- ★丸ごと受け入れる柔軟性(やわらかい心)
- ★新しいことへのチャレンジ
- ★変わることを恐れない
- ★今あるものへの感謝
- ★友への敬意と尊重
- ★自分が誰かの役に立てることの喜び

【ロータリーで出会えた子どもたち】

